

中学部 A 2・3 国語 単元計画

1. 単元名 「ピンポン」「色々な本の読み聞かせ」

2. 単元の目標

- ・絵本にでてくる言葉を声に出したり、絵を見て発声したりする
- ・画面に注目して読み聞かせを聞く
- ・絵本にでてくるシルエットを見て、選択肢の中から正しい人物を選ぶ
- ・ipadや具体物を操作して、絵本の内容を表現する

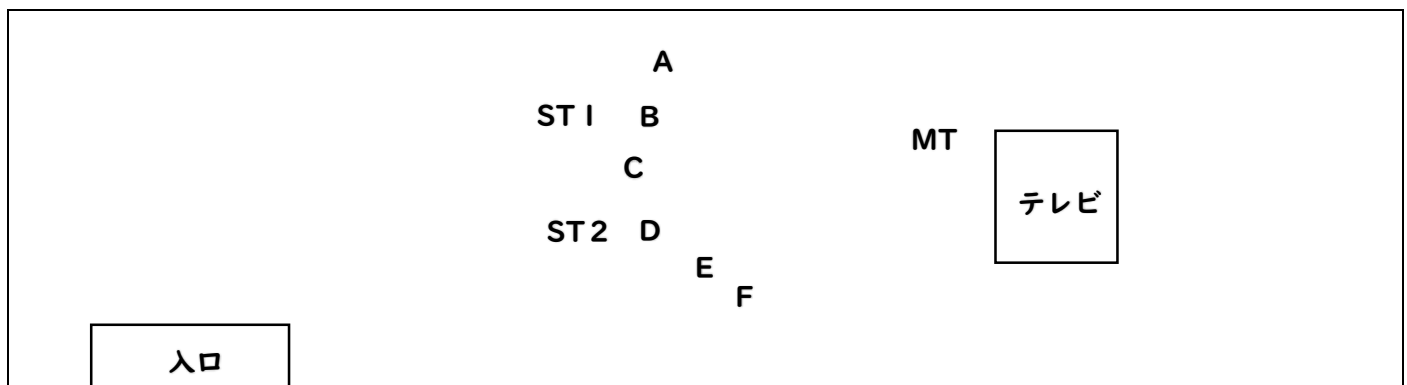
3. 単元計画

日時	時数	題材名	学習内容	教材・教具
10月1日(火)	9時間	「ピンポン」	・読み聞かせを聞く	テレビ Ipad 絵本 写真カード
4日(金)			・チャイムを押してシルエット	
8日(火)			クイズを見る	
11日(金)			・シルエットを見て、選択肢の	
15日(火)		「色々な本を見よう」	中から正解を選ぶ	
18日(金)			・友達のおすすめの本を見る、	
22日(火)			聞く	
25日(金)			・NHK for School の国語教材	
29日(火)			で読み聞かせを聞く、見る	

4 学習のポイント

- ・実際のチャイムを使って疑似体験をする（体験的な学習）
- ・シルエットに登場する人物は自分たちの身のまわりにいる人にする
（本の中に自分たちが入ったような感覚にする）
- ・学習を重ねていき、理解できるようになってきたら選択肢を増やす（最初は2択から）
- ・ipadの効果音アプリを使ってクイズの盛り上がりを意識して展開する

5 会場図 CR3



A2・3国語科学習指導略案

題材名 ピンポーン 色々な本を見てみよう

日時 令和6年10月8日（火）6校時 3／9

場所 CR3

生徒 火曜日 6名 金曜日 7名

指導者 MT：西田 ST：2名

ねらい

- ・絵本にでてくる言葉を声に出したり、絵を見て発声したりする
- ・画面に注目して読み聞かせを聞く
- ・絵本にでてくるシルエットを見て、選択肢の中から正しい人物を選ぶ
- ・ipad や具体物を操作して、絵本の内容を表現する

時程	項目	学習内容	教師の動き・配慮事項
14:00	挨拶	○始めの挨拶 日直が挨拶をする	・STは挨拶の支援を行う。 ・始まりの挨拶と同様。
14:02	学習内容の説明	○本時の内容を知る	
14:05	読み聞かせ① シルエットクイズ	○「ピンポーン」の読み聞かせを聞く ・実際にチャイムを鳴らしながら物語を進める ・チャイムを鳴らし、でてきたシルエットを見て、選択肢の中から答えを選ぶ ・画面に注目して正解を知る	・画面に注目するように促す ・選択肢から選べるように言葉がけや手添えをする
14:30	読み聞かせ②	ONHK for School の国語から実写の読み聞かせを聞く	・生徒の反応を見ながら読み聞かせに注目できるよう促す
14:40	ふりかえり	○見た本の内容を振り返る	
14:45	挨拶	○終わりの挨拶 日直が挨拶をする	

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」課題設定シート

学校名	北海道手稲養護学校三角山分校	氏名	鎌田 仁子
-----	----------------	----	-------

○ 自身の授業改善の計画

① 講義を通して気付いた授業改善に向けての課題（自身が今後取り組みたいことに焦点化して記載）
担任の立場での取り組みとして、視点5の「特別な配慮を必要とする児童への指導の工夫」の課題に取り組んでいきたい。 年度当初、児童の実態把握を行い、目標を立てて指導を行ってきたが、一部定着が見られる力もある。今回の研修を受けて、さらに発達や指導に関わる知識を深め、次の目標、目指したい姿をより明確にした上で指導を行うことが今後の課題であると感じた。発達段階や成長過程等の知識を、文献や研修等により深めた上で、さらに工夫、改善したい。
② 自身の授業改善の計画（授業改善の方策及び第Ⅱ期の実践発表の計画を検討）
小学部1年生で、個別指導で自立活動を中心とした教育課程で学んでいるため、教科等を合わせた指導の授業実践を行う。 文献で知識を深め、発達段階の再確認と、現在の児童の発達段階を踏まえ、次に目指す目標をより明確にした上で授業を行い、指導と評価の一体化を通して授業改善を図る。 レポートを作成し、10分程度の発表をする。
③ 児童の実態
自立活動を中心とした教育課程で学ぶ、小学部1年生（以下、児童A）。筋ジストロフィーやその他疾患を併せ有しており、知的障害がある。自立活動、教科等を合わせた指導を行っている。
④ 改善前
教科等を併せた指導である「遊びの指導」では、3名の教師が曜日毎に交代で指導を行っている。私自身は週2回、マンツーマンで指導に入っている。 目標は、「遊びの中で、教師からの関わりを受け入れたり思いを表出したりし、やりとりの経験を積み重ねることができる」としている。評価の観点としては、「生活」「国語」「算数」「音楽」「図工」「体育」を項目として挙げており、特に「生活」の「<u>オ 人とのかかわり</u>（イ）<u>身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる</u>」、「国語」の「<u>A聞くこと・話すこと</u> 身近な人からの話しかけに注目したり、応じて答えたりすることができる」の力の育成に重点を置いている。端的に言えばコミュニケーションの力の育成を目指している。 内容は、ボール遊び、スイッチでのぬいぐるみ遊び、光遊び(スノーズレン)、手遊び、テレビを見よう、うたを歌おう、電車ごっこ、パズルで遊ぼう等を行っている。 私が担当している週2回の授業では、①ボール遊び、②スイッチでのぬいぐるみ遊び、③光遊び、④手遊び、⑤すだれを主に行っており、体調や日により活動時間や内容を変更している。 入学式から約1ヶ月間は実態把握期間とし、それ以降は同じ教材を使用した活動や手遊びなどおなじみの活動を繰り返し行ってきた。同じ教材を使用したり、おなじみの活動を行ったりすることで、見通しをもち、安心して活動に取り組むことにつなげたいと考えた。また、その中で児童Aの受け入れや反応のわずかな変化も見えやすく、次に目指す姿もわかりやすい形となっていた。 まず、ある程度活動内容が固まった5月下旬からの学習の記録を振り返った。下記はその一部となる。

月	日	曜日	学習の記録
6	17	月	①ボール遊び②犬ぬいぐるみ(手動)③犬スイッチ ①ボールの音に、いつもの笑顔はなかったが、転がしてしばらくすると左腕で自分の体の上を転がして遊ぶ(自己像)場面あり。眠そうだったためボール2個で遊んだあと休憩。 ②「ワン」「ワオーン」などの言葉掛けとともに犬を身体の上をポンポン動かしていったところ、注意を向け(視線の動きを止め)、「ワオーン」で笑顔(情動)。再び休憩。
7	4	木	①ボール遊び②犬ぬいぐるみ(手動)③犬ぬいぐるみ(スイッチ)④すだれ ①特にイボイボボールに意欲をもち、左手で左右に転がしたり触れようとしたりする(自己像)ことが多かった。動きが止まったタイミングで「おしまい、終わり」と伝えてよけると、ヘッドレストに頭を打ち、眉毛がハの字になる(情緒、自己像)。触れさせると再び動かす。少ししてまた終わると、同じような動き(情緒、自己像)、再度取り組んだ。②犬が腕や頭にのり「ワン」など聞くと笑顔(情緒)。③鳴き声をじっくり聞く様子。途中、腕が伸びたタイミングで犬にふれさせると手をあげて3回、犬の頭をパシパシと打っていた(知恵)。④「ゴロゴロ」の声掛けをきっかけにすると触れる(自己像)。
7	22	月	①ボール遊び②犬ぬいぐるみ(手動)③すだれ④犬ぬいぐるみ(スイッチ)⑤手遊び ①ミニバスケットボールは左手と体幹にはさめると、体幹上を転がして口までもっていき、よくなめていた(知恵)。イボイボボールは最初嬉しそうに「フフ」と言う(情緒)が、自ら触れる動きは少なかった。②教師が「ワンワン」と言いながら腕や顔まわりを動かしていると、目の動きを止めて微笑(情緒)、動きを感じているようだった。③左手で一度引く動きと持ち上げる動き(知恵)をする。後は静か。④左手を少し動かし、ほぼ触れたままにし、じっと微笑(情緒)して鳴き声に耳を傾ける。⑤一本橋とお弁当箱の歌。「アハハ」の発声や微笑(情緒)あり。
8	29	木	①犬ぬいぐるみ(手動)②ボール遊び③言葉で遊ぶ ①教師にもたれかかり過ぎす。「ワンワンくるかな?ワンワン」と言う笑顔(情緒)、左手が前の方にゆらゆらと動き始める(自己像)。ビデオ準備をしてから犬に触れさせると、少しの間で少しテンションが下がったのか左手の動きはなし。笑顔あり(情緒)。②ボールを左手に触れさせるとより触れようとし、腕や手のひらを使ってたくさん転がして遊んでいた(自己像)。③動物の鳴き声で「ウフフ…」「ウファー」と笑顔(情緒)。

表1 1学期の学習記録の一部

遊びの指導においては、特に「生活」の「オ 人とのかかわり (イ) 身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる」、「国語」の「A聞くこと・話すこと 身近な人からの話しかけに注目したり、応じて答えたりすることができる」等のコミュニケーションの力を育てたいと考えている。児童Aの現在の発達段階を確かめるため、「感覚と運動の高次化からみた子ども理解」(2016)を参考にした。ここでは、発達を全14の領域で示している。表1を見ると、児童Aの場合、全14の領域のうち、情緒(快・不快の分化、好き嫌い、大人を意識した情動表現等)、自己像(身体の気付き、視聴覚と運動のつながり、拒否、模倣等)が、他領域と比べて育っていると思われた。しかし、視覚障害の影響もあると思われるが、知恵(認知、動く物の追視、手を伸ばしてつかむ、投げて終わりにする等)の領域においてつまずきが見られる。

「遊びの指導」においては、コミュニケーションの力、つまり領域でいうと情緒や自己像の領域と考えるが、これを主に伸ばしていきたい。それぞれの領域が相互的に補い合って発達するという考えをもとに、つまずきのある「知恵」の領域も育てていくことで、コミュニケーションの力をさらに伸ばしていきたい

と考えた。ただ「知恵」に関わる内容については、自立活動で主に指導しているため、自立活動で指導した内容を遊びの指導の中で生かしたり汎化できるようにしたりすることで、遊びの指導の目標を達成することを目指していく。

また、発達段階を踏まえて、「遊びの指導」の中で目指す具体的な児童の姿は、本に記載されている例であげると下記の通りとなる。今後の児童にもあてはまる姿と考えた。

- ・大人を意識した情動表現がみられる。
- ・好き嫌いが明確になり、嫌いなことは強く拒否をする。
- ・見知らぬ人とは不安定になるが、特定の慣れた人の傍に行くと安心する。
- ・あきらかに終点を意識して自己の運動を調節し始める。

これらの姿もイメージしながら授業を行っていくこととした。

⑤ 授業改善

学校祭のある 10 月中旬までは体調が安定しなかったため、授業改善前と同様の授業に取り組んだのは 10 月中旬以降となった。

また、体調が回復してきた頃から、自立活動で取り組んでいる活動内容を見直し、言葉でのやりとり(手遊び、動物の鳴き声遊び等)中心だった活動から、「手指による探索活動(知恵、認知)」の活動を再開した。「遊びの指導」においても、自立活動で行った「手指による探索活動」を意識しながらコミュニケーション能力の向上を図って指導を行った。

月	日	曜日	学習の記録
10	28	月	①犬ぬいぐるみ(手動)②やりとり遊び③手遊び ①近づけたり触れさせたりしたが、反応少なめで眠そうだったため終えた。②電気を消し、静かにやりとり。本人の言葉を復唱して聞かせるとその都度笑う(情緒)。ほどほどに終え、動物の鳴き声を聞かせると 1 回目で笑う(情緒)。③「おべんとうばこのうた」では、いつものように手洗い動作で笑顔(情緒)になり、歌終了後の「もぐもぐ」「むしゃむしゃ」の言葉掛けで笑顔(情緒)。
10	31	木	①ミニバスケットボール②イボイボボール③犬ぬいぐるみ(手動)④犬ぬいぐるみ(スイッチ)⑤すだれ 活動時間は約 15 分間。 ①左手をボールの上に置くと、左右にスライドさせて転がす(自己像)。途中、ボールが手から離れてしまうことがあったが、その際はボールを再び手の下に配置することで継続して転がし「ンガ」と笑顔(情緒)。②体幹を転がすようにボールを繰り返しもち上げ、ボールをなめて(認知)、鼻の横にシワを寄せていた。③「ワンワン」と言葉掛けし、一緒にたたいたが反応少なめ。④音を聴かせると「ザー！フッフッフ」鼻息強く(情緒)なり、左手を振り下ろしてたたいたり操作したり(知恵)できた。
11	14	木	①ミニバスケットボール②すだれ③犬ぬいぐるみ(スイッチ) ①左手をブンと左にスライドさせボールを転がし、再び腕を身体側に戻す(自己像)が、その時には既にボールが手から離れている。手を往復させている時に急いで手がうまくボールにのるよう工夫。②音に笑顔(情緒)。しばらくしても手が伸びず両手で指しゃぶり。しばらく指にあたるよう、すだれをチョンチョンと付けたり音を聴かせていると、左手を手前から左奥へとスライドさせたり、つかんで(親指以外で)音を出したりし、右手でもつかんだり触れたり(知恵)と、笑顔(情緒)で取り組む。③音を聴くうちに気持ちが高まり(情緒)、く操作。右手でも少し操作できた。

表 2 2 学期の学習記録の一部

特に注目したい活動が「すだれ」「犬のぬいぐるみ(スイッチ)」であり、児童の様子に変化が見られた。

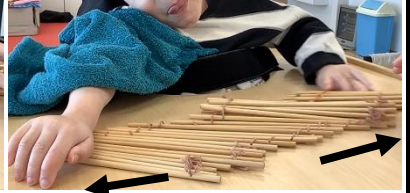
「すだれ」の活動では、静かな環境の中で操作させ、音や感覚に意識を傾けることができるように配慮している。1学期には左手ですだれをつかんで落とす動きはあったが数回行くと手が止まり、再び関心を示す姿は見られなかった。2学期には、左手だけでなく右手でもすだれに触れ、つかんだり落としたり、手前や奥に繰り返しスライドさせて遊ぶ姿が見られるようになった。また、時折「すごいね」「楽しいね」と言葉掛けをすると、満面の笑顔となる場面もあり、年度当初には見られなかった、身近な教師との関わりを楽しむ姿も見られるようになってきている。



この日は、伸びていた右手指に、チョンチョンと1分半程すだれを軽く触れさせた



指しゃぶりの左手を口から離してすだれに置くと、手前と奥に手を動かし、勢いよく往復させ始める。指しゃぶりの手をはずす際は、遊びの要素を入れることで心理面に配慮している。



左右の手ですだれを広げる動きも2度あり、嬉しそうな笑顔が見られた

「犬のぬいぐるみ(スイッチ)」では、1学期には左手指を屈伸させてスイッチを繰り返し操作し、犬の鳴き声や動きに耳や注意を傾ける姿が見られていた。年度当初はスイッチを押し、犬の動きや鳴き声にじっと意識を傾けるのみだったが、2学期には多い時で20数回、左手で犬の頭を連続でたたいたり、手を犬の頭に置き、手がずり落ちると再び頭に手を置く動きを繰り返す姿が見られる等、終点を意識した運動の調節がよく見られるようになった。また、「触れたい」気持ちや「犬のぬいぐるみ遊び(を介した教師との関わり)」を好む」といった情緒の発達が見られるようになった。



今回の実践を通して、認知の発達とともにコミュニケーション能力も発達していくことを改めて理解できた。引き続き、自立活動での「認知」の活動を踏まえながら、「遊びの指導」の中でコミュニケーションの力を育んでいく。

遊びの指導(各教科等を合わせた指導) 学習指導案(略案)

日時	令和6年10月～12月	場所	小学部教室	学部学年	1年生
児童生徒名	A	指導者	鎌田 仁子		
1 授業名 いろいろな遊びをしよう					
2 目標					
※単元目標…遊びの中で、教師からの関わりを受け入れたり思いを表出したりし、やりとりの経験を積み重ねることができる。					
・相手からのかかわりに関心をもつことができる。 (知識・技能：生活才(イ)／主体的に学習に取り組む態度)					
・相手からのかかわりに応じて発声や表情、身体の動き等により答えたり思いを表出したりすることができる。 (思考・判断・表現：国語Aイ)					
・教師と一緒に、ボールを使って身体を動かすことができる。 (知識・技能：体育Eア)					
3 授業の展開					
時程	学習内容	児童生徒の活動	教師の動き (留意点・配慮点含む)		
10:50	●始めのあいさつ	・発声によるあいさつ	・挨拶の際に、毎回同じ動きをしてもらう中で、見通しにつなげる。		
10:51	●活動内確認	・活動内容を知る。 ・使用する教具の音を聴いたり、触れたりする。	・使用する教具の音を聴かせることで“期待感”や“見通し”をもてるようにする。		
10:52	●活動	・ボール遊び (ミニバスケットボール、イボイボボール) ・犬のぬいぐるみ (手動、スイッチ) ・すだれ ・手遊び ・やりとり ・たいこ絵本	・体調に応じ活動内容を決める。 ・活動に集中できるよう、取り組んでいる最中の言葉掛けは簡潔で必要最小限とする。 ・共感的な言葉掛けを心掛ける。 ・手遊びでは、「しますか？」と確認し、表情等の表出を見て実施するかを判断する。 ・適宜休憩をとる。		
11:30	●振り返り	・良かったところを賞賛する。	・楽しい、嬉しいときの言葉として伝わりやすい言葉掛けをする。		
11:34	●終わりのあいさつ	・発声によるあいさつ	・挨拶の際に、毎回同じ動きをしてもらう中で、見通しにつなげる。 ・発声や腕の動き等の表出があれば賞賛する。		
＜教材教具＞		＜評価・反省＞			
ボール、犬、スイッチ、すだれ、たいこ絵本					

2024/12/12

函館養護学校 佐藤

1 選択した教科等

音楽

2 対象生徒

中学部5名（男子4名、女子1名）

3 取り組みたいこと

生徒自身が学びや変容を自覚できる場面を設定する。

（授業づくりの基本「5つの視点」から視点2－1）

4 指導の実際

別紙「指導略案」の通り

5 成果と課題

【成果】

●生徒が主体的に学習に取り組むことができるようになった。

ex)

・生徒が教師に対して「このように〇〇（楽器）を持ったらいいですか？」と尋ねるようになった。

・生徒が教師に対して「もう1回（練習）やりましょう」や「〇〇（曲名）やりたいです」などの発言をするようになった。

●自身の授業について見直し、改めることができた。

・固定観念を置いて、よりよいものを取り込もうとする姿勢は評価か。

【課題】

●対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面の設定には至らなかった。

課題に対して、教科：音楽、障がい種：肢体不自由、知的で具体的な取り組みがあれば知りたいです。

改変前

中学部音楽指導略案

単元名	鍵盤楽器演奏	授業者	M T：佐藤 S T：旦尾、吉田、山柿 支援員：高橋、松本
日 時	6～9月 毎週水曜日 2・3校時 10：10（10：15）～11：50（11：30）	学習場所	音楽室
目 標	・ 範唄を聴いたり、歌詞の通り歌ったりすることができる。 ・ 音楽の特徴を感じて楽器を演奏したり、身体を動かしたりすることができる。 ・ 友達や教師が表現する様子に興味をもつことができる。		
時間・領域等	学習内容	指導の手立て	
10：10 挨拶 10：15	・ 座席表を見て所定の場所に着席する ・ 教師の号令で始まりの挨拶をする	事前に椅子を配置する	
歌唱、身体表現 10：15	1 始まりの歌「ハロー」 ・ 名前を呼ばれたら返事をしたり、タンプリンを鳴らしたりして答える ・ 歌詞を見ながら歌唱したり手拍子をしたりする	首や背中中の筋肉をほぐしたり、手や腕の関節をゆるめたりする	
器楽、身体表現 10：20	2 鍵盤楽器を演奏しよう ・ 楽器の扱い方を知る ・ 教師の合図に合わせて音を出す ・ 友達の演奏を聴いたり、一緒に演奏したりする ・ お互いの演奏に対して、拍手などで称賛する	楽器に工夫を凝らしたり、教具を使用したりする	
歌唱、身体表現 11：15	3 歌おう ・ 音楽に合わせるように声を出す ・ 歌詞を覚えて歌う	歌詞を復唱させたり、教師が先読みしたりする	
歌唱、身体表現 11：25	4 終わりの歌「また会える日まで」 ・ 歌詞を見ながら歌唱したり手拍子をしたりする	手や腕を支持したり、手本を見せたりする	
挨拶 11：30	・ 次回予告 ・ 教師の号令で終わりの挨拶をする		
後片付け 11：50	・ 楽器の後片付けをする		

改変後

中学部音楽指導略案

単元名	トーンチャイム・ハンドベル演奏	授業者	MT：佐藤 ST：旦尾、吉田、山柿 支援員：高橋、松本
日 時	10～12月 毎週水曜日 2・3校時 10：10（10：15）～11：50（11：30）	学習場所	音楽室
目 標	・範唄を聴いたり、歌詞の通り歌ったりすることができる。 ・音楽の特徴を感じて楽器を演奏したり、身体を動かしたりすることができる。 ・友達や教師が表現する様子に興味をもつことができる。		
時間・領域等	学習内容	指導の手立て	
10：10 挨拶 10：15	・座席表を見て所定の場所に着席する ・教師の号令で始まりの挨拶をする	事前に椅子を配置する	
歌唱、身体表現 10：15	1 始まりの歌「ハロー」 ・名前を呼ばれたら返事をしたり、タンプリンを鳴らしたりして答える ・歌詞を見ながら歌唱したり手拍子をしたりする	首や背中中の筋肉をほぐしたり、手や腕の関節をゆるめたりする	
器楽、身体表現 10：20	2 チャイム・ベルを演奏しよう ・楽器の扱い方を知る ・教師の合図に合わせて音を出す ・友達の演奏を聴いたり、一緒に演奏したりする ・お互いの演奏に対して、拍手などで称賛する ・自身の演奏動画を観たり、演奏についてよくなった点など、教師の話を聞いたりする	楽器に工夫を凝らしたり、教具を使用したりする 演奏をビデオで記録する MT は生徒の変容について具体的に説明する	
歌唱、身体表現 11：15	3 歌おう ・音楽に合わせるように声を出す ・歌詞を覚えて歌う	歌詞を復唱させたり、教師が先読みしたりする	
歌唱、身体表現 11：25	4 終わりの歌「また会える日まで」 ・歌詞を見ながら歌唱したり手拍子をしたりする	手や腕を支持したり、手本を見せたりする	
挨拶 11：30	・次回予告 ・教師の号令で終わりの挨拶をする		
後片付け 11：50	・楽器の後片付けをする		

中学部「音楽科」学習指導略案

単元名	冬の音楽を楽しもう		指導場所	火曜日：プレイルーム
学習グループ	音楽C	指導者	MT 菅原 他教師 4 名	
生徒	中学部 3 年生 4 名（3 組 4 名、4 組 1 名）			
授業日時	令和 6 年 11 月 19 日（火）～12 月 24 日（火） 火 2 校時（木 2 校時）			

題材名	器楽「レットイットゴー」 身体表現「つぼチャチャチャ」		時数	6回（予定）
本時の目標	観 点	目 標		
	知識・技能	・「レットイットゴー」の曲を聴いて、楽器を鳴らすタイミングが分かる。 ・自分で手や腕などの身体を動かして、フィンガーシンバルを鳴らすことができる。		
	思考・判断・表現	・好きなこと、苦手なことに対して気持ちを表現することができる。 ・曲を聴いて、自分の気持ちを周囲に表現することができる。 ・教師との触れ合いを通して、リラックスしたり、楽しい気持ちを表現したりすることができる。		
	学びに向かう力	・相手を意識して、集中して取り組むことができる。 ・教師からの働きかけに気づき、やりとりしながら音楽活動することができる。		

学習の流れ	主な学習活動	生徒の活動	教師の支援
1、始まりの挨拶 「歌えバンバン」	・日直に合わせて始まりの挨拶をする。 ・教師と一緒に身体を動かしながら歌う。	・1番の歌詞の「こんにちは」のところで、前に立つ教師に対して、声を出したり視線を合わせたりして挨拶をする。 ・2番の最後の歌詞の「パンパンパンパンパーン」でスイッチを使ってライトを付ける。または、手や足で鈴を鳴らして表現する。	・一緒に歌う。 ・「こんにちは」のタイミングで1人の生徒に近付いたり、身体に触れたりしながら挨拶をし、生徒の反応を見る。 ・生徒からの挨拶を受け取ったら、返事を返し、次の生徒へ向かう（生徒の人数分繰り返す）。 ・必要に応じて生徒の手、腕を支える。
2、器楽 「レットイットゴー」	・「レットイットゴー」の曲に合わせて、フィンガーシンバルを演奏する。	・曲に合わせてフィンガーシンバルを演奏する。	・必要に応じて、生徒の手の動きを補助する。 ・生徒の自発的な動きが出るように、手を支えたり声を掛けたりする。 ・必要に応じて、生徒の手の動き

			が出るまで待つ。
3、身体表現 音楽で遊ぼう 「つぼチャチャチャ」	・自分の気持ちを表情、声、身体の動きで表現する。	・「つぼチャチャチャ」の曲に合わせて、教師と一緒に触れ合い遊びを楽しむ。 ・教師の手の動きを目で追ったり、教師の手が自分の身体に触れたことに気付いたりできる。	・曲に合わせて、対象生徒と一緒に触れ合い遊びをする。 ・生徒の気持ちを表情や身体の動きから読み取り、全体へ代弁する。
4、身体表現、器楽 リトミック	・ピアノの曲に合わせて、動く。 ・自分の担当する楽器を鳴らすことで、ピアノの曲を変える合図を出す。	・マリオのテーマ曲に合わせて教師が車いすを押し、教室を周回する。 ・マリオのテーマ曲をイメージする楽器の担当を決める。 ・担当になった楽器を自分の鳴らしたいタイミングで鳴らし、そのとき演奏されているピアノの曲を変える合図を出す。	・曲によって、車いすを押す動きを変える。 ・生徒の自発的な手の動きが出るように、支援する。
5、終わりの挨拶 「またあいましょう」	・日直に合わせて終わりの挨拶をする。 ・曲に合わせて飛んでくる風船に気付く。	・「またあいましょう」の曲に合わせて飛んでくる風船に気が付き、風船を目で追ったり、身体に当たったときに表情や身体を動かしたりして自分の気持ちを伝える。 ・「またあいましょう」の曲を聞いて、授業の終わりに気付くことができる。	・「またあいましょう」の曲に合わせてシートを用いて風船を飛ばす（3回繰り返す）。

中学部「音楽科」学習指導略案

単元名	冬の音楽を楽しもう		指導場所	木曜日：音楽室
学習グループ	音楽C	指導者	MT 菅原 他教師 4 名	
生徒	中学部 3 年生 4 名（3 組 4 名、4 組 1 名）			
授業日時	令和 6 年 11 月 28 日（木）～12 月 19 日（木） 木 2 校時			

題材名	鑑賞「クリスマスソング」 身体表現「つぼチャチャチャ」		時数	4回（予定）
本時の目標	観 点	目 標		
	知識・技能	・光に気付いて、視線を向けたり注視したりすることができる。 ・スイッチを押して、音楽を再生することができる。 ・クリスマスツリーのオーナメントを握り、教師と一緒にツリーに飾ることができる。		
	思考・判断・表現	・好きなこと、苦手なことに対して気持ちを表現することができる。 ・曲を聴いて、自分の気持ちを周囲に表現することができる。 ・教師との触れ合いを通して、リラックスしたり、楽しい気持ちを表現したりすることができる。		
	学びに向かう力	・相手を意識して、集中して取り組むことができる。 ・教師からの働きかけに気づき、やりとりしながら音楽活動することができる。		

学習の流れ	主な学習活動	生徒の活動	教師の支援
1、始まりの挨拶 「歌えバンバン」	・日直に合わせて始まりの挨拶をする。 ・教師と一緒に身体を動かしながら歌う。	・1番の歌詞の「こんにちは」のところで、前に立つ教師に対して、声を出したり視線を合わせたりして挨拶をする。 ・2番の最後の歌詞の「バンバンバンバンバン」でスイッチを使ってライトを付ける。または、手や足で鈴を鳴らして表現する。	・一緒に歌う。 ・「こんにちは」のタイミングで1人の生徒に近付いたり、身体に触れたりしながら挨拶をし、生徒の反応を見る。 ・生徒からの挨拶を受け取ったら、返事を返し、次の生徒へ向かう（生徒の人数分繰り返す）。 ・必要に応じて生徒の手、腕を支える。
2、鑑賞 音楽で遊ぼう 「クリスマスソング&オーナメント」	・校内（廊下）を探索しながら、クリスマスオーナメントを探し、ミニツリーを完	・教師と一緒に廊下に吊されているクリスマスオーナメントとライトを探す。 ・視線や身体の動きで、ライトと	・（MT）ミニツリーを配付する。 ・生徒と一緒に廊下を探索する。 ・ライトの近くに車いすを止め、生徒の視線が動いたり、注視

ラリー」	成させる。	オーナメントを見つけたことを教師に伝える。 ・（Ｄ君）オーナメントの鈴が鳴る音を聞いて、オーナメントを見つけたことを教師に伝える。 ・ミニスイッチを押して、流れてくるクリスマスソングを聴く。 ・自分のツリーに見つけたオーナメントを飾る。	したりするのを観察する。 ・生徒が注視することができたなら賞賛し、「見つけたね！」など言葉を掛ける。 ・ミニスイッチを押す。 ・クリスマスソングが流れたら、生徒に「知っている？」などと質問し、反応を観察する。 ・生徒の自発的な動きが出るように、身体の動きを補助したり、声を掛けたりする。 ・必要に応じて、生徒の身体の動きが出るまで待つ。
学習の流れ ①廊下を探索し、吊されているオーナメント（ライト）を探す。 ②ミニスイッチを押して、クリスマスソングを聴く。 ③オーナメントを自分のミニツリーに飾る。 ※４カ所設置します。			
3、身体表現 音楽で遊ぼう 「つぼチャチャチャ」	・自分の気持ちを表情、声、身体の動きで表現する。	・「つぼチャチャチャ」の曲に合わせて、教師と一緒に触れ合い遊びを楽しむ。 ・教師の手の動きを目で追ったり、教師の手が自分の身体に触れたことに気付いたりできる。	・曲に合わせて、対象生徒と一緒に触れ合い遊びをする。 ・生徒の気持ちを表情や身体の動きから読み取り、全体へ代弁する。
5、 終わりの挨拶 「またあいましょう」	・日直に合わせて終わりの挨拶をする。 ・曲に合わせて飛んでくる風船に気付く。	・「またあいましょう」の曲に合わせて飛んでくる風船に気付く、風船を目で追ったり、身体に当たったときに表情や身体を動かしたりして自分の気持ちを伝える。 ・「またあいましょう」の曲を聞いて、授業の終わりに気付くことができる。	・「またあいましょう」の曲に合わせてシートを用いて風船を飛ばす（３回繰り返す）。

【個人目標及び学習の様子、現段階の評価】

生徒名	年間個人目標（音楽）	学習の様子・現段階評価
A	①表情や目線、身体の動きなどで自分の気持ちを表現することができる。【思・判・表】	①今月の触れ合い遊び「つぼチャチャチャ」では、教師が鼻の両サイドに触れると、「やめてください！」という表情で身体を曲げて、教師の手をよけるように動かし、自分の気持ちを表現することができた。頭をつぼを押されたときは、気持ち良さそうに身体の動きを止めていた。 ①クリスマスソングラリーでは、教師が、廊下につり下がっているライトを顔のそばまで近付けると、ライトに視線を向けて見つめることができた。スイッチを押して、クリスマスソ

	②自ら楽器に手を伸ばし、音を鳴らすことができる。【知・技】	ングが流れると、身体の動きを止めて、聴いているような表情を見せていた。 ②フィンガーシンバルのひもを指に掛けて演奏した。車いすのアームレストに肘を置くと、自ら前腕を動かして、教師の持つ片方のシンバルに、自分の持つシンバルを打ち当てて演奏することができた。シンバルがキラキラと光る様子や「チーン」という音も聴いているような表情だった。
B	①表情や視線、身体の動きなどで自分の気持ちを表現することができる。 【思・判・表】 ②自ら楽器に手を伸ばし、音を鳴らすことができる。【知・技】	①「つぼチャチャチャ」では、鼻のつぼを教師に押されると、目を見開き、驚いた様子を見せながらも、触れ合いを受け入れることができた。頭のつぼは、同じような目の見開きがあったが、鼻のつぼよりも、リラックスした表情になり、気持ち良さそうな柔らかい表情を浮かべていた。 ①クリスマスソングラリーでは、ライトの近くに車いすを停め、顔から 30cm くらいまで光が近付くと、視線を向けることができた。目をしっかり開き、嬉しそうに見つめていた。 ②教師が持つフィンガーシンバルがきらきらと揺れる様子を注視することができた。シンバルのひもを指に掛けて持ち、自分で手を動かして、教師が持つ片方のシンバルにぶつけて、音を鳴らすことができた。注視しながら演奏するまでには至っていないので、練習を重ねる。
C	①表情や視線、身体の動きなどで自分の気持ちを表現することができる。【思・判・表】 ②曲の始まりと終わりを意識して、自分で手を動かして楽器を鳴らすことができる。【知・技】	①「つぼチャチャチャ」では、一緒に学習する教師が自分の目の前に来ると、教師の目を見て、誰なのか確認しているようだった。鼻や頭のつぼを押されると、顔をしかめたり、首を横に振って、逃げるような仕草を見せていたが、回数を重ねると、徐々に受け入れることができるようになってきた。 ①クリスマスソングラリーでは、5 m 以上離れたところからでもライトの光に気付き、注視することができた。スイッチを押して、「クリスマスイブ（山下達郎）」が流れるとスイッチを見つめて聴いている様子だった。教師が「この曲知ってる？」と声を掛けると、首をぐいっと動かして質問した教師を見つめ、「知ってる！」と返事をしているようだった。 ②フィンガーシンバルのひもを指に掛け、両手に持って演奏した。教師が肘を補助すると、目の前に位置する楽器をよく見て、自ら腕を動かして打ち付け、音を鳴らすことができた。ピアノの伴奏と教師の合図に合わせて楽器を鳴らすことができた。
D	①指や手、足など身体のいろいろな部分を使い、鈴や太鼓などの楽器を演奏（音を出す）ことができる。 【知・技】【思・判・表】【態】 ②音の鳴る方向に気が付くこと	①フィンガーシンバルのひもを、棒付きヘアバンドの棒に掛け、教師の持つ片方のシンバルに自分のシンバルを当てて演奏する方法で練習した。自分で首を左右に動かして、教師の持つシンバルに自分のシンバルを当てて演奏することができた。 ②クリスマスソングラリーでは、ライトに付いた鈴の音に気付

	ができる。 【知・技】【思・判・表】	き、ラリーのポイントに近付いたことを理解することができた。スイッチを押して「赤鼻のトナカイ」が流れると、笑顔を見せながら身体を揺らしてリズムをとり、クリスマスソングを楽しむことができた。
--	----------------------------------	--

「保健体育」単元計画

～「保健」～

児童生徒名(指導者)	y・m・w・o	主担当	橋本
実施期間	10月29日～11月12日	単位時間数	3時間
学習指導要領段階	中学部 第1段階 H 保健 ア 体の発育・発達やけがの防止, 病気の予防などの仕方が分かり, 基本的な知識及び技能を身に付けること。 イ 自分の健康・安全についての課題を見付け, その解決のための活動を考えたり, 工夫したりしたことを他者に伝えること。		
学習概要 (設定理由)	本単元では, けがや病気の予防の仕方や健康や体の発育ついて知り, 自分の実生活で実践しようとする態度を養いたいと考えて設定した。		

単元の目標	
知識及び技能	・体の発育発達やけがの防止, 病気や感染症の予防などの仕方がわかり, 基本的な知識や技能を身に付けることができる。
思考力, 判断力, 表現力等	・体の発育発達や病気や感染症の予防について知り, 自分ができていること, これから取り組むことについて考える事ができる。
学びに向かう力, 人間性等	・積極的に行動や発表をしたり, 友達の発表を聞いたりすることができる。

学習計画 (教育的ニーズ、育成したい資質・能力等を踏まえて)		ねらいと評価計画		
期日	主な学習計画	知・技	思・判・表	主体的
10月29日(火) 4時間目	・体の部位の名称を覚え、汗を拭く実践をする。 ・寒暖に応じた着衣の選択。 ・病気や感染症の予防方法について確認する。(うがい、手洗いなど) ・自分の生活習慣と比べて、改善点を考える。 ・運動、食事、睡眠、清潔の大切さを知る。	○	○	○
11月5日(火) 4時間目	・日頃から行える怪我の予防について考える。 ・予防、対策で大切なこと、ものを考える。 ・応急処置について。 ・準備運動の大切さ。	○	○	○
11月12日(火) 4時間目	・服を脱ぐ、性器を触るといった行動をして良い場所(更衣室、トイレ、シャワールームなど)と良くない場所を実際に行って確認する。 ・思春期による男女の体の変化について考える。 ・プライベートゾーンの確認と見せない、触らない、触らせないことの約束。 ・異性の尊重と性衝動の対処。 ・人との距離感について。	○		○

留意事項・共通事項・準備物等

個別の目標 (評価基準 ◎:十分に達成できた ○:概ね達成できた △:○に満たない)					
学年	児童生徒名	評価規準		評価	特記事項
2年	y	知	・体の発育発達やけがの防止, 病気や感染症の予防などの仕方を 知る。		
		思	・体の発育発達や病気や感染症の予防について知り, 自分ができ ているかについて考える。		
		主	・選択肢を手にとったり、友達の発表を聞いたりすることができ る。		
2年	m	知	・体の発育発達やけがの防止, 病気や感染症の予防などの仕方を 知る。		
		思	・体の発育発達や病気や感染症の予防について知り, 自分ができ ているかについて考える。		
		主	・積極的に自分の考えを発表したり、友達の発表を聞いたりする ことができる。		
2年	w	知	・体の発育発達やけがの防止, 病気や感染症の予防などの仕方を 知る。		
		思	・体の発育発達や病気や感染症の予防について知り, 自分ができ ているかについて考える。		
		主	・積極的に自分の考えを発表したり、友達の発表を聞いたりする ことができる。		
2年	O	知	・体の発育発達やけがの防止, 病気や感染症の予防などの仕方を 知る。		

		思	・体の発育発達や病気や感染症の予防について知り、自分ができているかについて考える。		
		主	・積極的に自分の考えを発表したり、友達の発表を聞いたりすることができる。		

単元（題材）評価（○：十分である　△：検討が必要）				
期日	時数	内容	教材	学習グループ

全体を振り返って（成果と次年度への課題）

令和6年度中学部保健体育「保健」指導略案

題材（単元）名	病気や感染症の予防		
日時	令和6年10月29日（火）4校時目 11：00～12：05		
場所			
指導者名			
題材（単元）の目標	① 正しい手洗いの仕方について知る。（知識・技能） ② 手洗いの大切さを知り、いつ手洗いが必要か考える。（思考・判断・表現） ③ 教師の支援を受けながら、手洗いに取り組むことができる。（学びに向かう力・人間性）		
道徳の観点	【道徳 中学校】A－（2）節度、節制 A－（3）向上心、個性の伸長 【道徳 中学校】D－（19）生命の尊さ D－（22）よりよく生きる喜び		
自立活動区分・項目	○区分【項目…】 ・健康の保持【（1）生活のリズムや生活習慣の形成に関すること・・・③生活習慣の形成】 ・健康の保持【（5）健康状態の維持・改善に関すること・・・②適切な自己管理】 ・身体の動き【（1）姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること・・・基本姿勢】		
教科との関連	【教科名】保健体育 H保健 （知識及び技能） 第1段階 ア 体の発育発達やけがの防止、 病気の予防などの仕方がわかり、 基本的な知識・技能を身に付ける こと。	【教科名】保健体育 H保健 （思考力、判断力、表現力） （学びに向かう力、人間性等） 第1段階 イ 自分の健康・安全についての課 題を見付け、その解決のための活 動を考えたり、工夫したりしたこ とを他者に伝えること。	
時間	学習内容	配慮事項	
11：00	1 集合・挨拶をする。 ・生徒の号令に合わせて挨拶をする。	・MT やテレビ画面に注目するよう促す。	
11：02	2 本時の学習内容を確認する ・本時の目標を確認する。		
11：05	3 季節に合わせた服装 ・夏と冬の服装について、着せ替え人形のような ワークシートを使って、季節に合う衣服を選択 する。 ・動画を見る。	・一人1枚ワークシートを使用し、夏と服にふさわ しい衣服（長袖 or 半袖、長ズボン or 半ズボン程 度）を選択して貼って完成できるようにする。 ・完成したら、みんなに見えるように掲示する。 ・動画に注目するよう促す。	
11：20	4 体の部位と手洗いがい ・汗をかいたときには、拭いたり着替えたりする ことを確認する。 ・テレビ画面や指導者を見て、体の部位を確認し ながら、拭くまねをしたり触ったりする。（頭、 肩、首、腹、背中、顔） ・手洗いがいについての動画を見る。（手を洗 わないとお腹を痛くしたり、風邪を引いたりし てしまうことを知る。） ・正しい手の洗い方、うがいの動画を見る。 ・動画を見ながら模倣する。	・テレビに注目するよう促す。 ・ハンカチを持っている生徒はハンカチで汗を拭 く仕草をするよう促す。 ・その場で動画を見ながら、水を使わずに手洗いう がいの模倣を促す	
11：40	5 やってみよう ・屋外もしくは校内を散歩して、教室に戻ってき たらお菓子を食べることを確認する。 ・全員教室に戻って来たら、すぐにお菓子を食べ て良いのか、何をする必要があるのか確認す る。 ・11：50頃に教室に戻る。	・生徒の歩くスピードに応じて、各々好きな場所へ 行く。 ・帰って来た際に、バイ菌に見立てて手洗スタンプ を押す。	
12：05	6 おわりのあいさつ ・号令に合わせて挨拶をする。		
準備物	テレビ、i P a d、手順表、お菓子、たらい、ハンカチ		

令和6年度中学部保健体育「保健」指導略案

題材（単元）名	けがの予防と処置		
日時	令和6年11月5日（火）4校時目 11：00～12：05		
場所	2組教室		
指導者名			
題材（単元）の目標	① けがや病気の予防と処置の仕方について知る。（知識・技能） ② けがや病気の予防方法や処置の仕方について考え、表現できる。（思考・判断・表現） ③ けがや病気の予防と処置に取り組むことができる。（学びに向かう力・人間性）		
道徳の観点	【道徳 中学校】A—（2）節度、節制 A—（3）向上心、個性の伸長 A—（4）希望と勇気、克己と強い意志 【道徳 中学校】B—（6）思いやり、感謝 B—（7）礼儀 B—（8）友情、信頼 【道徳 中学校】D—（19）生命の尊さ D—（22）よりよく生きる喜び		
自立活動区分・項目	○区分【項目…】 ・健康の保持【（1）生活のリズムや生活習慣の形成に関すること・・・③生活習慣の形成】 ・健康の保持【（5）健康状態の維持・改善に関すること・・・②適切な自己管理】 ・心理的な安定【（2）状況の理解と変化への対応に関すること・・・状況の理解】 ・コミュニケーション【（2）言語の受容と表出に関すること・・・①言語の受容と表出】 ・コミュニケーション【（5）状況に応じたコミュニケーションに関すること・・・状況の判断】		
教科との関連	【教科名】保健体育 H保健 （知識及び技能） 第1段階 ア 体の発育発達やけがの防止、病気の予防などの仕方がわかり、基本的な知識・技能を身に付けること。	【教科名】保健体育 H保健 （思考力、判断力、表現力） （学びに向かう力、人間性等） 第1段階 イ 自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。	
時間	学習内容		配慮事項
11：00	1 集合・挨拶をする。 ・生徒の号令に合わせてあいさつをする。		・MTやテレビに注目するよう促す。
11：02	2 本時の学習内容を確認する ・本時の目標を確認する。		
11：05	3 ケガの予防と処置 ・体の部位について、文字や写真を見ながら、実際に自分の体を触って確認する。 ・転ぶなど→けがなど→処置の3枚のカードを順番に並べる。 ・けがの処置の仕方を見る。 ・けがの処置の仕方について人形や指導者、自分を相手にして実際に行う。 ・動画を2種類視聴する。（ケガをしないように、ケガの処置について） ・身の回りの危険について、イラストを見る。 けがをしないためにどうしたらよいか考える。 ①きまりを守る②周りをよく見る		
11：35	4 病気の予防と生活習慣 ・1日の流れに沿って、食事×3、お風呂、睡眠、運動各1枚のカードを並べる。 ・好きな物やお菓子だけ食べる、お風呂に入らない、寝ない、運動をしないしていると病気になることを確認する。 ・自分たちの手が清潔か、前時の振り返りも兼ねて動画を見てから手洗いを行う。		・頭、顔、膝、お腹、お尻、背中、目、耳、鼻、口、肩、肘、について、文字と写真で提示する。 ・動画で説明された手順を写真で用意しておく。 ・擦り傷、切り傷→絆創膏 やけど、打撲、突き指、捻挫→冷やす 鼻血→止める について取り扱う。
12：00	5 ふりかえり ・目標を達成したか、学習の振り返りをする。		・テレビやMT に注目するよう促す。
12：05	6 おわりのあいさつをする。		
準備物	テレビ、iPad、各種ワークシート、処置セット、		

令和6年度中学部保健体育「保健」指導略案

題材（単元）名	男女のちがい、プライベートゾーンについて		
日時	令和6年11月12日（火）4校時目 11：00～12：05		
場所	2組教室		
指導者名			
題材（単元）の目標	① プライベートゾーンがわかる。（知識・技能） ② 人に見せない、触らせないところを隠すことができる。（思考・判断・表現） ③ 課題に取り組むことができる。（学びに向かう力・人間性）		
道徳の観点	【道徳 中学校】A－（3）向上心、個性の伸長 【道徳 中学校】B－（8）友情、信頼 【道徳 中学校】D－（19）生命の尊さ D－（22）よりよく生きる喜び		
自立活動区分・項目	○区分【項目…】 ・健康の保持【（5）健康状態の維持・改善に関すること・・・②適切な自己管理】 ・心理的な安定【（2）状況の理解と変化への対応に関すること・・・状況の理解】 ・コミュニケーション【（2）言語の受容と表出に関すること・・・①言語の受容と表出】 ・コミュニケーション【（5）状況に応じたコミュニケーションに関すること・・・状況の判断】		
教科との関連	【教科名】保健体育 H保健 （知識及び技能） 第1段階 ア 体の発育発達やけがの防止、病気の予防などの仕方がわかり、基本的な知識・技能を身に付けること。	【教科名】保健体育 H保健 （思考力、判断力、表現力） （学びに向かう力、人間性等） 第1段階 イ 自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。	
時間	学習内容	配慮事項	
11：00	1 集合・挨拶をする。 ・生徒の号令に合わせてあいさつをする。	・MTや表示物に注目を促す。 ・生徒がiPadを操作して、自分の顔写真を移動させる。 ・1人1枚タオルを用意し、使えるようにする。 ・テレビや指導者に注目するよう促す。 ・1人1枚イラストを用意し、プライベートゾーンを隠すように、服のイラストを貼る。 ・動画と絵本は内容が重複していますが、繰り返し伝えたい点なのでどちらも活用します。	
11：02	2 本時の学習内容を確認する ・本時の目標を確認する。 ①プライベートゾーンを知ろう。		
11：05	3 男子と女子を分けよう。 ・トイレや温泉のマークを使い、男子と女子のマークを知る。 ・自分はどちらのマークに入れば良いか考え、顔写真を貼って表現する。		
11：15	4 プライベートゾーンについて知る。 ・「体を清潔にしよう」ではテレビ画面や指導者の演示を見ながら、体の部位を触って、タオルで洗うまねをする。		
11：30	・「おしえて！くもくん」の動画（7分）を見る。 ・テレビや指導者の話に注目し、プライベートゾーンについてのマナーや約束を確認する。 ・イラストに紙の下着を付けて隠す場所を確認する。		
11：50	・絵本「だいじだいじどこだ」読み聞かせを聞き、本時の内容を再確認する。		
12：00	6 まとめ ・目標が達成できたか確認する。		
12：05	7 おわりのあいさつをする。		
準備物	テレビ、iPad、プリント、写真		